

第 17 回議会報告会 報告書

地域名	出合地域		
年月日	平成 30 年 4 月 25 日 (水)	会場名	出合コミュニティスポーツセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	20 時 55 分
参加数	男性 13 人	女性 0 人	合計 13 人
班 長	田路之雄	司 会 者	田路之雄
報 告 者	田村和也	書 記	西谷昭徳
班 員 名	田路之雄、田村和也、西谷昭徳、深澤 巧		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 財政調整基金から 30 億円を公共施設等整備基金に積み立てているが、市民に財政効果が見える形での予算投入が必要である。合併後の地域へのサービス水準が低下し、地域が疲弊している。議会は、地域の心がさびれないような政策提案の議論をしてほしい。</p> <p>② 自治協議会の持続、継続が課題である。包括交付金に頼らずに自立しなさいと言われるが、地元を突き放すような態度である。市は地元と共に築き上げることが必要と思うがどうか。</p> <p>③ 出合は公民館の譲渡に合意していない。譲渡による市側のメリットは分かるが、区側のデメリットはどうか。</p> <p>④ 文化会館の建設用地の取得について、本会議での賛成討論、反対討論があるが、このような土地取得については瑕疵責任の分担を明確にする契約にすべきではないのか。</p>	<p>① 合併して 15 年後の合併の功罪を検証する節目の年である。基金の積立についても財政的危機状態から脱してきた中で、今後どのように有効に使っていくかという考えが必要になっている。単なる現金給付ではなく 10 年、20 年後に効果を生み出す投資として基金を使う考えが必要である。また自治協は、周辺地域から声を出して市長に迫っていくような組織を目指してほしい。住民から戦略的な予算要望を出していくような考え方が必要になってくる。</p> <p>② 包括交付金は当初には基礎活動資金として担保し、条例で明文化すべきというような議論が議会であった。自主事業で得た資金は地域の将来について投資すべきものである。財政自立の声の中ですり替える議論はいけない。</p> <p>③ 市が地域を見放すという印象で、住民が警戒感を持ってしまう。見放されてしまうというような喪失感が一番のデメリットである。</p> <p>④ 工場跡の解体整地作業の中で試掘をして埋設物の有無を確認している。過去に埋設物の事例があるが、市の契約事項の中で瑕疵担保責任を問わない決めにしているという説明である。</p>	

市 民	対 応
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50px;">意見交換会 での質疑</p> <p>① 地元には、昼間消防団員がいない。OB団員を予備団員にできないが。</p> <p>② 自治協の事務職員に市の職員を常勤配置してはどうか。市と地域の実情にあった活動をしていくべきである。連携が強まる。現在の市の担当職員ではもの足りない。</p> <p>③ 出合川の橋の間隔が狭い。台風の大雨の際に流木などが妨げになり危険である。県にも要望しているが議会も調査してほしい。昨年の水害箇所も手を付けていないところがある。</p>	<p>① 機能別消防団員という制度がある。具体的に提案され、検討していく必要がある。</p> <p>② 自治協の活動経過の中で思い切った組織改革が必要かもしれない。若手職員を自治協に派遣し、地域の実情を知るための研修的な制度も必要という意見もある。</p> <p>③ 市は、災害に関しては優先順位をつけて対応している。地域の細やかな実情をつぶさに見るのが議員の役目であり、議会も委員会などが現場に足を向けてこそ信頼が得られる。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50px;">その他 (提言など)</p> <p>① 養父市では自治協が発足して8年目となり、隣の豊岡市は2年目とのことである。豊岡市では新しい制度として職員を地域に派遣することを始めている。出合自治協にも視察に来た。参考にして調査をしていただきたい。</p> <p>② 昨年の台風の時、避難場所が公会堂から体育館に変更になっていた。公会堂にはあったテレビや毛布が備えられていない。40人の避難民があつたが何もない。防災倉庫が空になっていた。大谷校区には2,000枚の毛布の在庫がある。備品の流用ができないのか。テレビ情報が入らず高齢者が不安を募らせた。灯油の備蓄も必要である。市はもう少し細やかな対策をとるべきである。</p>	
<p>備考 なし</p>	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 30 年 4 月 25 日

報告者 3 班 班長 田路 之雄

